

集落支援員だより

第16号

発行者 東和地域集落支援員
連絡先 66-2490
発行日 令和2年12月24日(木)



談話 ゲスト 地域を想う人紹介

今回は、武藤栄利さん(木幡)にひと言いただきました。十一月下旬に取材しました。



東和観光協会 会長
武藤 栄利さん(木幡)

稔りの秋を迎え、田んぼは稲穂がこつべをたれ、収穫の時を待っています。

赤く色づいたりんご、紫に色づいたぶどう、黄色に色づいたみかん、それぞれの畑が活気づいているようだ。毎年この時期を迎えるワクワクする。でも、毎年同じでも今年は違った景色にみえる。

計り知れない「コロナ」の影響

「新型コロナウイルス」が日本のみならず、世界中を席巻しています。家庭も学校も会社も、そしてスポーツも大きな影響を受け、オリンピックの延期から全てのスポーツが自粛されました。卒業を迎えた子供たち、生徒たち、三年間の集大成であ

るスポーツ大会や学習発表の場も奪われてしまい、本当にかわいそうでなりません。

また、あらゆる会議が見送られ、書面での報告と議決でした。例年開催される、私たちのよりどころとなるお祭りやイベントが中止となり、非常に残念に思っています。

現在も感染が広がり、より一層の危機感をもって生活していかなければならぬと思うと同時に一刻も早いコロナ禍の終息を願ってやみません。

野生動物対策を進める

私は現在、水稲とワイン用のぶどうを育てています。今年は天候もよく、良いワインができるかと楽しみにしていました。そのため一年間手入れしてきました。しかし、コロナの影響により生産調整にせまられました。また、収穫直前にハクビシンやタヌキに被害されてしまい、畑によっては皆無のところもありました。

東日本大震災以降、イノシシが増え、その対策が徐々に効果を表してきています。最近では、クマ、シカ、サルの出没と通常では人里には来ない動物まで私たちの生活の中に入ってきています。以前は、山林は下刈りし、先人が手入れをし、耕作した田畑は耕作放棄地となり、野生動物の住処となつてしまいました。

イノシシ対策としては、電気柵が効果を表しておりますが、タヌキ、ハクビシンについては、本年実感しましたが、電気柵プラス何かが必要であることが判りました。

パークゴルフ大会

塩沢区が初優勝 初冬に親睦を深める

集落では、少子化と高齢化の進展に伴い、区長さん、リーダーの方々、自分たちの集落の舵取りをどうすればよいのか、10年先、20年先を考えたとき、いま何かしなければ将来が危ぶまれるのではないかと、どうしたら住みよい集落の継続が可能なのか悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。そういった思惑と同時に、今年は感染症拡大防止



▲大会に参加した選手ら
(各行政区長及び代表者)

最後になりますが、初めて畑で収穫して作ったワインに寄せる思いを書いてペンを置きます。

ひとつの思いやりが幸せになるこの一滴が心を満たしてくれそんなワインでありたい
感謝を込めてあなたへ
「ありがとう」 (武藤栄利)

とが相まって、息詰まりを感じるような一年ではないでしょうか。

そういったなか、太田寺坂区主催として区長さん方に何か実のあることができないものかと考え、「集落支援協働事業補助金」を活用し、パークゴルフ大会および情報交換会を開催する運びとなりました。

11月22日(日)、日山パークゴルフ場は、体感温度が摂氏3度と初冬を感じる天候でした。まず感染症拡大防止対策等を行い、開会のあと、二本松市東和支所長の佐藤正弘さんより大会に先立ち挨拶をいただきました。準備運動として支所長による始球式が行われ、絶妙なショットの始球式から大会開始となりました。普段あまりスポーツに親しむ機会が少ない皆さんもいるなか、思い思いの感覚でプレーを楽しみ、個々の間隔を保ちながら、ひとときの親睦を深めることができました。

(裏面に続く)

